

平成 25 年 9 月 月例労働経済報告のポイント

一般経済

- 景気は、緩やかに回復しつつある。
 - ・ 輸出は、このところ持ち直しの動きが緩やかになっている。生産は、緩やかに増加している。
 - ・ 企業収益は、大企業を中心に改善している。
設備投資は、非製造業を中心に持ち直しの動きがみられる。
 - ・ 企業の業況判断は、改善している。
 - ・ 雇用情勢は、改善している。
 - ・ 個人消費は、持ち直し傾向にある。
 - ・ 物価の動向を総合してみると、デフレ状況ではなくなりつつある。

- 先行きについては、輸出が持ち直し、各種政策の効果が発現するなかで、家計所得や投資の増加傾向が続き、景気回復の動きが確かなものとなることが期待される。ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっている。

労働経済

- 労働経済面をみると、雇用情勢は、改善している。

(平成 25 年 7 月の指標)

- ・ 完全失業率 (季節調整値) は 3.8%。(前月より 0.1 ポイント低下)
- ・ 就業者数 (季節調整値) は 6,303 万人。(2 か月ぶりの増加 (前月差 1 万人増))
- ・ 雇用者数 (季節調整値) は 5,564 万人。(4 か月連続の増加 (前月差 9 万人増))
- ・ 有効求人倍率 (季節調整値) は 0.94 倍。(前月差 0.02 ポイント上昇)
- ・ 新規求人倍率 (季節調整値) は 1.46 倍。(前月差 0.03 ポイント低下)
- ・ 現金給与総額 (原数値、速報値) は 362,141 円。(2 か月連続の増加 (前年同月比 0.4% 増))